

田布施町 土砂災害ハザードマップ

【平成30年1月改訂】



お問い合わせ先
田布施町建設課
 〒742-1592 山口県熊毛郡田布施町大字下田布施 3440-1
 TEL: 0820-52-5807 FAX: 0820-52-5968

土砂災害防止法（正式名称「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」）による土砂災害特別警戒区域（通称「レッドゾーン」）は、山口県知事が、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域を指定したものです。下関地方気象台と山口県砂防課が土砂災害警戒情報を発表した場合、避難勧告等が発令される場合があります。普段から防災情報を収集し、いざとなったら早めの避難を心がけましょう。

わが家の防災メモ

わが家の避難場所

家族の集合場所（避難場所と出会えなかった場合）

避難時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校などの電話番号

防災グッズチェック

懐中電灯	衣類	非常食	健康手帳、薬手帳
チェックした日 <input type="checkbox"/>	チェックした日 <input type="checkbox"/>	チェックした日 <input type="checkbox"/>	チェックした日 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

準備をしておきましょう
 ちり紙、ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、毛布、ヘルメット、携帯トイレ、ドライシャンプー、薬手帳、非常食、せつけん、使い捨て箸など

緊急連絡先

施設名称	電話番号	施設名称	電話番号
田布施町役場	0820-52-2111	城南駐在所	0820-52-2445
光地区消防組合東消防署	0820-52-3103	麻郷駐在所	0820-55-5918
柳井警察署	0820-23-0110	麻里府駐在所	0820-55-5200
田布施交番	0820-52-2042	柳井土木建築事務所	0820-22-0396

土砂災害にそなえて

土砂災害に関する正しい知識と情報を入手しましょう

土砂災害とは

土砂災害は、台風などにより大雨が降ると山地の急な斜面や地盤の緩くなった山肌が崩れて土砂が石や木々が大量の水と一緒に、私たちの街に襲いかかってくるので、人が亡くなる割合が多い恐ろしい災害です。
 道路や橋、家や田畑なども壊してしまいます。特に降雨量が1時間に、20mm以上、降り始めから100mm以上になると、十分な注意が必要です。

土砂災害の種類と前兆現象（前ぶれ）

急傾斜地（急傾斜の崩壊）	地すべり	土石流
雨水がしみ込んで柔らかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。日本で最も多い土砂災害で、急に起きるため逃げ遅れて犠牲になる人も多い災害です。 	豪雨や長雨で、ゆるくなった斜面の一部が、地下水や重力の影響でゆっくりと下方へ移動する現象です。発生すると広範囲に被害を与えます。 	長雨・集中豪雨などで、山腹や深流の石や土砂が一気に下流に押し流します。強大な威力とスピードで、進行方向にあるものを飲み込み破壊します。
前ぶれ ・がけから水が湧き出る。 ・がけからの水が濁る。 ・地下水や湧水が止まる。 ・がけから木の根が切れるなどの音がする。 	前ぶれ ・地面にひび割れが出来る。 ・沢や井戸の水が濁る。 ・斜面から水が湧き出す。 ・家や擁壁に亀裂が入る。 	前ぶれ ・山鳴りがする。 ・立木が裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる。 ・急に川の水が濁り、流木が溢り出す。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

雨の強さと降り方

（平成12年8月作成）、（平成14年1月一部改正）、（平成29年3月一部改正）

一時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受けるイメージ	人への影響	災害発生状況
10～20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20～30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
50～80	非常に激しい雨	滝のように降る。（ゴーゴーと降り続く）	傘は全く役に立たなくなる。	雨による大規模な被害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。
80～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。		

山口県土砂災害警戒情報システム

山口県と下関地方気象台では、気象や雨量の状況を情報交換し、大雨で土砂災害のおそれがある時、共同で山口県土砂災害警戒情報を発表します。同時に、土砂災害警戒情報及び土砂災害降雨危険度について、本システムよりインターネット（PC及び携帯電話等を利用）で情報提供します。

The system provides real-time information on landslide and debris flow risks across the prefecture. It includes maps showing warning levels and detailed information for specific areas.

土砂災害降雨危険度の見方

危険度レベル	レベルが示す状況と対処方法
レベル1 今後の雨量に注意	土砂災害の発生に注意 気象や雨量の情報収集の開始 周囲の渓流や斜面の状況に注意し、異常を感じたら早めの避難
レベル2 避難準備開始の目安	土砂災害の発生に警戒 非常時の持ち出し品と避難経路の確認 災害時要援護者などは避難の開始
レベル3 避難開始の目安	今後2時間以内に土砂災害が集中的に発生する危険性が高まっている 渓流や斜面の状況に注意し、早めの避難
レベル4 土砂災害発生の恐れ	土砂災害が集中的に発生するおそれ

避難情報について

避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合

避難準備・高齢者等避難開始
 避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。
 その他の方は避難の準備を整えましょう。

避難勧告
 速やかに避難場所へ避難しましょう。
 外出することによって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内の安全な場所に避難をしましょう。

避難指示（緊急）
 まだ避難していない人は緊急に避難場所へ避難しましょう。
 外出することによって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内の安全な場所に避難をしましょう。

NTT 災害伝言ダイヤル

災害時に被災地への電話がかけにくい場合でも、親戚・知人等の伝言を確認できるシステムです。

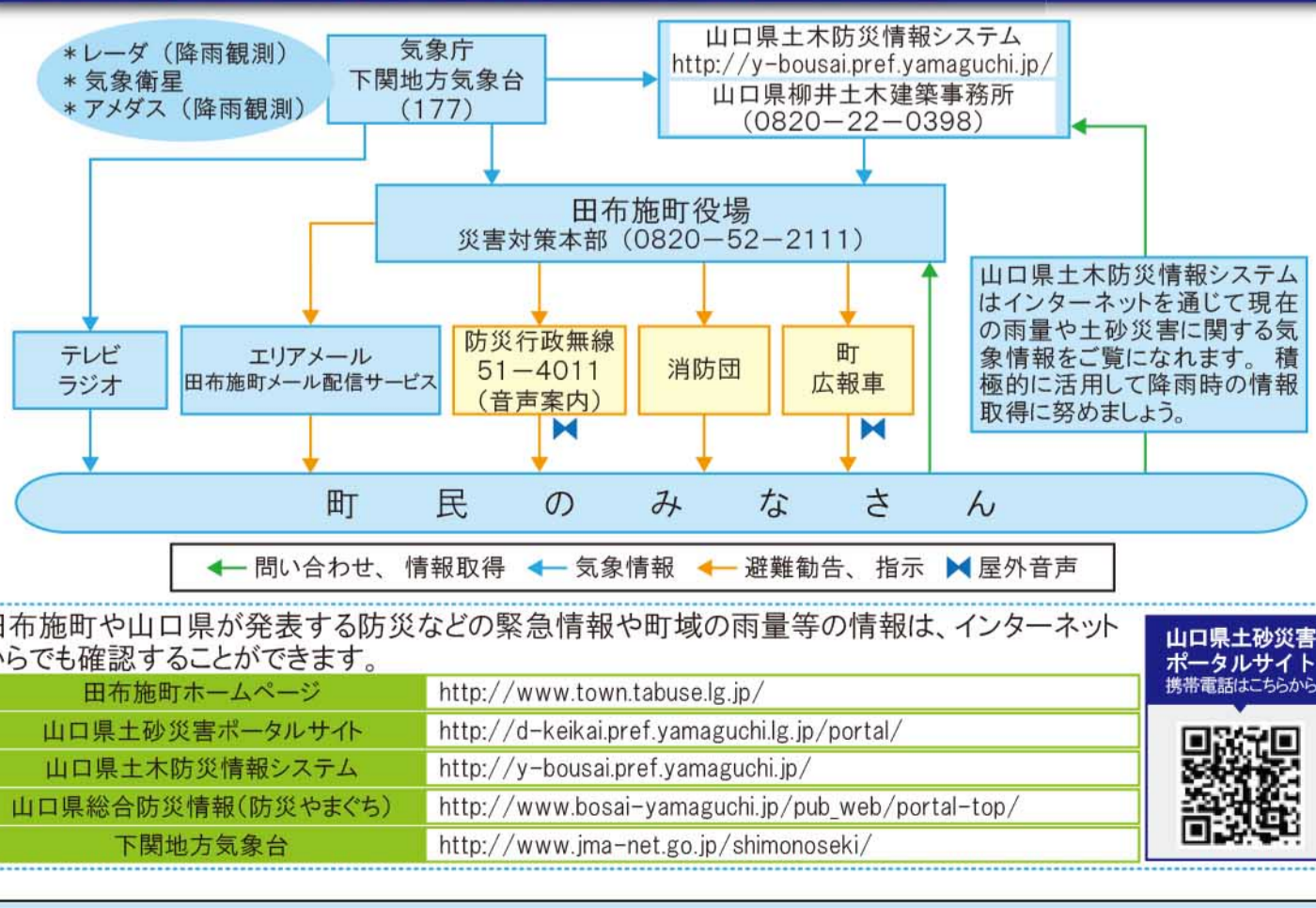
災害用伝言ダイヤル ☎ 171 忘れて 177（いない）と覚えましょう

伝言の録音方法
 ①「171」にダイヤル
 ② 録音する場合は、「1」をダイヤル
 ③ 自宅の電話番号をダイヤル（市外局番から）
 ④ メッセージを話す（30秒間）

伝言の再生方法
 ①「171」にダイヤル
 ② 再生する場合は、「2」をダイヤル
 ③ 連絡を取りたい方の電話番号をダイヤル（市外局番から）
 ④ メッセージを聞く（30秒間）

※サービスの開始は、NTTで決定し、テレビ・ラジオ等で報道

田布施町の防災体制と災害情報の伝達経路



田布施町メール配信サービス「旧 防災・防犯メール」

田布施町メール配信サービスとは？
 あらかじめ登録された方の携帯電話やパソコンに、これまでの気象情報、火災発生情報等、避難情報、防災情報などの「防犯・防災情報」に、「イベント情報」、「町からのお知らせ」、「子ども・子育て応援情報」を追加し、お届けするものです。

登録
 なたでも登録頂けます。ご家族やお知り合いの方にも登録をお勧めください。

登録手続き
 ① 次の登録用アドレスにメールを送信してください。
 アドレス e-tabuse@xpressmail.jp
 ② 次のようなメールが返信されます。
 指示に従ってアクセスしてください。
 次のアドレスにアクセスしてください。
 http://manage.xpressmail.jp...
 ③ アクセスにより次の登録サイトに繋がります。

QRコード対応の携帯電話をご利用の場合は、右図からアドレスを読み取る事が出来ます。

The registration process involves sending an email to e-tabuse@xpressmail.jp and then accessing the registration site via a QR code or the provided URL. The site allows users to register their email address and preferences for receiving disaster and safety information.

テレビなどによる情報の入手例

災害関連情報の取得には、テレビなどのマスメディアが有効です。ニュースや天気予報番組で気象の見通しや気象警報・注意情報の発表状況が放送されます。また、リモコンの「d（データ放送）」ボタンからも情報を入手することができます。

The diagram shows a television set with a remote control. A button labeled 'd' is highlighted, indicating that users can receive disaster-related information through data broadcasting services on their TVs.

「日常からの心構え」と「避難行動時の注意事項」

土砂災害の発生時には、さまざまな危険があります。普段からどんな危険があるか、確認しておきましょう。また、土砂災害の発生又は発生の危険が生じたことにより避難の必要がある場合には、次のことに注意しましょう。

- ハザードマップで安全に避難できる道を確認しましょう。
- 普段から地域の危険箇所を点検し、避難時に役立てましょう。
- 事前に非常用の持ち出し品を準備しましょう。
- 正確な情報を収集して、自主的な避難を心がけましょう。
- 避難の呼びかけに注意して、隣近所に声をかけましょう。
- 2人以上で、動きやすい服装で避難しましょう。
- 土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは直角に逃げましょう。
- 車での避難は控えましょう。緊急自動車の障害になります。

要配慮者への対応

「要配慮者」とは、高齢者、障害者、乳幼児などの防災施策において特に配慮を要する方を指します。具体的には、以下のような方々が含まれます。

- ① 認知症や体力的に衰えのある高齢者
- ② 心身障害者（肢体不自由者、知的障害者、内部障害者、視覚・聴覚障害者）
- ③ 日常的には健康者であっても理解力や判断力の乏しい乳幼児
- ④ 日本語の理解が十分でない外国人
- ⑤ 一時的な行動支障を負っている妊産婦や傷病者

災害時には助け合って早めに避難しましょう！

ひとり暮らしのお年寄りなどに声をかけて
 高齢者・病弱な人・体の不自由な人は、みんなで協力を
 目の不自由な人には、誘導を
 耳の不自由な人には、紙とペンで情報を